



尾崎： 風薫る5月！南米 エクアドルの空から日本語番組が飛び立ったのも1964年5月1日現地時間午後5時でした。

尾原： その記念すべき日に、その放送をされたご本人に今日はお話をお伺いさせていただきます。その前に私の自己紹介ですが、私自身は、中学3年生の時に新潟市でソニー主催の「BCL ペディション」に友達といっしょに参加し、公民館に集まった千人のBCL ファンとともに尾崎さんの話しをきき、山田耕嗣さんのサインの列に並ばせてもらいました。それはそれはお祭り騒ぎでした。こうしたBCLブームの最中、HCJBには年6万通、月平均5000通もの受信レポートが届いていたそうですね。

尾崎： 今までにない経験でした。なにしろ郵便受けに手紙があふれてしまうので、わざわざボール箱を別に用意して運んでいました。日本語部の部屋の壁には、月毎の来信数を示す棒グラフが貼ってあったのですが、その赤い線が月毎にどんどん伸びて、今にも部屋の天井を突き抜けそうな

勢いになっていました。「一体、何が起こったのだろう」と首をかしげたHCJB国際局ではその実態調査のために ビュークマ局長を訪日することになり私も同行しました。日本に着くと同時に某ラジオメーカーから新しい受信機を紹介され、<この受信機を目の前にすると わたしの心は果てしない未知の国へと旅立ってしまう>というキャッチフレーズとともに写真が掲載されました。私と一緒に電車に乗っている時も、またプラットホームで電車を待っている時にも聴取者からサインを求められたりするので、日本のBCLブームの現状にはす本当に驚かされていました。

尾原： それなのに2000年の大晦日の番組を最後に放送ができなくなったのですか。

尾崎： 原因は エクアドル政府がキト新空港建設のためHCJB送信所のアンテナ撤去を強行したからです。その年、私たちは帰国して東京の青山学院の学長さんと懇談する機会があり、その時に 同席していた井田教授に「君、尾崎さんが困っているようだから、エクアドルへ行って助けてあげなさい」と提言されたのです。井田教授は当時パソコンによる教育事業を東南アジア各国ですすめておられるネット通信の先駆者でした。最適任者がHCJBに来てくださってネット時代に適応するお膳立てを整えてくださったのです。テープ番組もアーカイブに保存してくださいました。そのお陰で現在も「アンデスの声」時代の懐かしい番組を楽しむことができます。井田先生の犠牲的な 愛とその奉仕に心から感謝しています。また、「アンデスの声」が放送開始した時、真っ先に日本から受信レポートをくださった山田耕嗣先生のこと忘れられません。日本からレコードなどを送っていただきましたが、そのなかに「誕生日はいいもんだ」という歌があり、南米のリスナーに大人気となりました。「お便り交換の時間」の番組も、移住者家族にとっては、現地で離れ離れになった知人や友人の消息を知る情報源にもなるので放送当初からとてもよるこばれていました。南米移住者家族のためにと由紀さおりさんと安田祥子さんは童謡アルバム「あの時、この歌～童謡を歌う」全セットをHCJBに送っていただきました。デュークエイセスの皆さんも「日本のうた」全50曲を届けてくださり、クリスチャン作家三浦綾子さんからも「ラジオ図書館」で読む著書を寄贈していただきました。

放送はひとりでは出来ません。番組が制作されてオンエアされるまでにはどんなに背後で多くの人たちの支えがあるか知れないのです。番組をつくるもの、その番組を電波に乗せるもの、その番組に耳を傾けてくださるリスナーの皆様、そして、その働きを背後で祈り、励まし、犠牲的に支えてくださっている方々など、こうした多くの人々の支えがあったからこそ、今日まで放送を続けることができたのです。このことを肝に銘じ、今も HCJB 日本語放送をずっと愛し、支えつづけてくださっているひとりびとりに心からの感謝を捧げながらさらに放送に献身したいと願っています。

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
4月30日	日本語放送開始58周年記念番組(1)	5月01日	日本語放送開始58周年記念番組(2)
5月07日	日本語放送開始58周年記念番組(3)	5月08日	聖地巡礼の旅(4)ガラヤ湖
5月14日	女ばかり南米大陸をゆく(4)	5月15日	リスナーからの「お便り交換の時間」
5月21日	クリスチーンのアムリカ大陸発見(3)	5月22日	聖地巡礼の旅(5)最終回
5月28日	南米ふれあいの旅:梶村均次(4)	5月29日	聖書遊覧バス:出エジプト記:モーセ物語(14)

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)



放送時間：日本時間 午前7時半~8時 15410kHz (再放送) 午後8時~8時30分 15.565kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

